

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 5 月 10 日

評価対象事業		評価者	ふるさと寄附金推進課長 廣川 智久		
経企-05	実施事業	ふるさと寄附金推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	ふるさと寄附金推進課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	ふるさと寄附金推進事業を円滑に実施するため。
効果	収入確保のみならず、本市が持つ自然環境、歴史、文化等多様な魅力の発信により、活力ある鎌倉のまちづくりに資するとともに、本市に対する継続的な支持を得る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

ふるさと寄附金制度のPRを行った。 本市の魅力発信・地域振興に資する地域特産品を開拓した。 ふるさと寄附の申出を受け付けるとともに、希望する寄附者に向け、地域特産品を発送した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	38,173	74,232	74,232	当初予算(千円)	124,487		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	38,173	74,232	74,232	一般財源	124,487		
事業経費運営	人員配置数	1.0	3	3	人員配置数	3.0		
	人件費(千円)	7,933	23,651	23,651	人件費(千円)	24,716		
	総事業費(千円)	46,106	97,883	97,883	総事業費(千円)	149,203		
	市民1人当りの経費(円)	260	553	553	市民1人当りの経費(円)	846		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市地域特産品を提供する連携事業者

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	寄附額の増加を図るため、返礼品の充実やプロモーション活動、広告を行っていく。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業の充実を図ることにより寄附金額が増加することが見込まれ、それに伴い歳入及び歳出(運用代行委託料など)が増加していくこととなる。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業の必要性については、依然全国的に寄附金が増加している傾向にあるため、予算等を含めより充実していくべき状況にある。いただいた寄附金を寄附者の意向に合わせて事業費として予算化し活用しているところであり、引き続き鎌倉のまちづくりを充実させるため事業の拡大が必要な状況にある。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	引き続き厳しい財政状況であるため、今後、制度のさらなる改善・充実を行う必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	寄附の申込や返礼品の受発注について、業務委託によりシステム化の運営を行い、制度の大幅な改善を図った。また返礼品のラインナップを91品目から200品目に充実するとともに、市内文化施設等のPR活動(20回)や東京駅や銀座でのPR活動など市内内外のプロモーション活動を実施するなど周知活動に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	更なる返礼品の拡充及び周知活動が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成28年度における寄附申出金額(円) ※下段については、鎌倉市の寄附申出金額を100%としたときの各市の寄附申出金額の割合									
団体名	鎌倉市	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	厚木市	海老名市	三浦市	
他市実績	175,016,304	71,901,713	15,947,000	63,372,000	35,062,317	47,526,000	254,976,751	102,915,001	83,036,216	
	100.0%	41.1%	9.1%	36.2%	20.0%	27.2%	145.7%	58.8%	47.4%	

比較事項	返礼品割合(割)									
団体名	鎌倉市	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	厚木市	海老名市	三浦市	
他市実績	3	未実施	未実施	3.2	3	3.3	5	4.3	3	
	100.0%	-	-	106.7%	100.0%	110.0%	166.7%	143.3%	100.0%	

比較事項										
団体名										
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	返礼率4~5割で実施している自治体が多い中で、本市は国が妥当な返礼率と考える3割で実施しており、寄附額については健闘している状況となっている。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	寄附申出金額	単位	千円	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
より一層の歳入確保を図る上で、明確な指標となるため	目標値		3,000	194,000	260,000	300,000	350,000
	実績値		123,330	175,016			
	達成率		4111.0%	90.2%			

指標の内容	返礼品割合	単位	割	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
適正な返礼品の提供	目標値		3	3	3	3	3
	実績値		3	3			
	達成率		100.0%	100.0%			

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	本事業の充実を図ることが、寄附申出金額の増加に結びつきまちづくりの充実の原資として活用できる。また、適正な返礼品を寄附者に提供することが当該事業の推進につながると考える。
-----------------------	---